

媒体名

健康産業新聞

掲載日

2009年12月16日

タイトル

'09年度の人気受注素材&アイテム/'10年予想

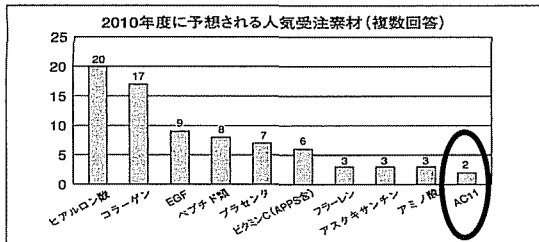
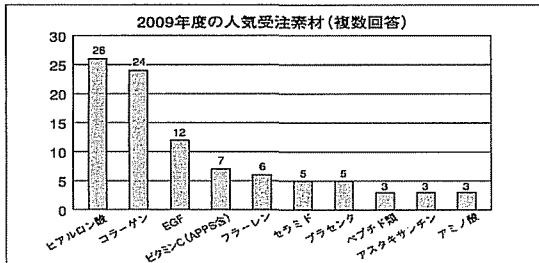
09年度の人気受注素材は、「ヒアルロン酸」がトップで「コラーゲン」、「EGF」の順。前年同期の調査と同様の結果となった。「EGF」についてはここ1~2年で定番素材としての地位を固めつつある。「フラレーン」、「ビタミンC」なども上位をキープした。一方、人気受注アイテムでは、「美容液」、「クリーム」、「化粧水」とこちらも不動。「石鹸」、「クレンジング類」も順当にランクインしている。このほか、今年6月の調査でも挙げられていたオーガニック化粧品が台頭しており、来年以降はランク入りの可能性が高い注目のアイテムといえる。

■安定した「定番素材」が席捲

消費マインドの冷え込みで市場の不透明感が強まった09年度の人気化粧品調査では、「ヒアルロン酸」、「コラーゲン」、「EGF」と昨年6月時と同様の結果。「ビタミンC」、「フラレーン」、「セラミド」なども前回に引き続きランクインした。このほか健康食品でも上位だった「プラセンタ」や「アスタキサンチン」、「ペプチド」、

「アミノ酸」など定番素材もランク入りし、安定した受注を得ていたことがわかった。

10年度の人気予測も「ヒアルロン酸」、「コラーゲン」、「EGF」は変わらず、「セラミド」に代わり「AC11」がランクインした以外は09年と同じ結果。ランキング入りした各素材のほとんどは健康食品の原料にも使用され



素材アイテム 「美容液」、「化粧水」、「クリーム」の「三本柱」堅調

オーガニック化粧品、来期ブレイクの兆し

ており、「内外美容」の観点からも、効果が期待できる成分である点を訴求していることが分かる。

一方、人気受注アイテムでも前回調査に引き続き「美容液」がトップ。続いて「化粧水」、「クリーム(ゲル状含む)」の順。また緑茶石鹸が通販ルートでヒット中の「石鹸」、目周りを強調するメイクで人気の「クレンジング類」もランクインした。

各社のコメントでは受注素材について「消費者認知度の高い素材の受注が多かった」という。昨秋からの経済不況による消費減少の中でも、女性が必要とされているものが人気素材として反映されており、特にエイジン

グケア訴求の商品が安定した需要を獲得している。化粧品アイテムの核となるスキンケアでは、「美肌」、「美白」、「保湿」をキーワードにしたエイジングケアシリーズの化粧品の受注が多かったという。

またランク外ではあったが、前回調査でも今後のトレンド素材として取りあげられていたオーガニック化粧品への受注が増加している。各社は「エコサート認証取得を視野に受託事業に取り組む」とし、「一過性のブームに終わらず、堅実なブランド作りを提案したい」と、来年以降期待のアイテムといえる。

また毛髪・頭皮の健康や美容、栄養補給などを訴求したシャンプーやトリートメント、温暖化の影響で紫外線を浴びる時間が長くなり、紫外線による光老化に対するUVケア商品なども受注が増加傾向にあるという。

